

祝・40周年

# シルバーだより 柏崎

第120号 発行日 令和2年9月15日

発行 (公社) 柏崎市シルバー人材センター  
〒945-0032  
柏崎市田塚3丁目11番30号  
TEL (0257) 24-2148(代)  
FAX (0257) 22-2438  
編集 同上 広聴広報部会  
印刷 (株) 小田

登録会員数 1,288人 男699人 女589人 8月末日現在



「やまゆり」の賑わい



設立四十周年に寄せて

理事長 小林和徳

昭和55年10月、柏崎市高齢者事業団(後に柏崎市シルバー人材センター)がスタートしました。「自主、自立、共働、共助」の理念のもと、会員201人での出航。会員数の推移は、平成6年1000人突破、西山・高柳合併後1449人、地震・経済不況後、平成25年最低の1085人と経過し、令和2年3月末現在で1313人と挽回しました。

受託金額の推移は、平成元年2億7000万円、平成6年4億円、平成11年4億8000万円、合併後7億円を達成。支えとなったのは、機器の整備、建屋の完成(平成8年)による事務局体制の整備と生産性の向上、「ワークプラザ柏崎」指定管理の受託(平成5年)、介護保険事業への参入(平成12年)、合併による会員増、労働者派遣事業への参入(平成25年9月)等です。全国初となる庭木の手入れ、除草の完全請負への移行に踏み切りました(平成30年)。その成果が受注増に繋がってきており、今後も期待されます。

柏崎沖を震源とする中越沖地震と引き続くリーマンショックによる世界不況は当センターに多大な損害をもたらしましたが、大幅な受注減と会員減はその後も引き続いており、事務局・役員・会員総ぐるみで立ち向かって行かねばなりません。

想定外の事情に因り介護保険事業の内、ケアマネージメント部門が令和元年5月から休止の状況に追い込まれました。更に厳しいのは、リーマン不況の比ではないコロナ禍の不況も現在進行中で、大幅な受注減や入会足踏みの状態が深刻です。

令和2年度未で終了する、国の「きらりシルバー応援事業」(3年間)は、機器の整備とソフト開発による事務局機能の飛躍的向上、退会会員抑止、入会促進、市民への意識啓発等総合的に取り組み成果を上げています。これらは国の支援終了後も持続可能で成熟していきますので、3年間の成果を武器に総力を挙げて事業を展開してまいります。

これまでお世話になった歴代の市長さん、行政関係者、経済界、そして多くの諸団体の皆様に厚く御礼申し上げます。シルバーを支えていただいた4000人に近いOB会員、厳しい状況下でも頑張っている現会員の尽力に感謝しながら新しい歩みを進めてまいります。

当シルバー人材センターのホームページで会員向けのお知らせや、就業情報(毎週水曜日更新)も掲載しますので、ご覧になってください。

<https://www.k-silver.jp/>

## 創立四十周年を祝して

柏崎市長 櫻井 雅浩



柏崎市シルバー人材センターが、今年で創立四十周年を迎えられました

ことを心よりお慶び申し上げます。長きにわたり、熱意をもって運営にあたられてきました理事長、役員の方々を始め、職員や会員の皆様方に感謝の意を表します。

我が国においては超高齢化が進行する中、高齢者も重要な労働力として位置付けられており、シルバー人材センターの果たす役割がますます重要になってきております。そんな中、貴センターは、様々な独自事業を展開しており、中でも百五十人ものボランティア会員により運営されている「シルバーふれあいサロンやまゆり」は高齢者の方たちの居場所と働く場のバランサーがほどよくとれたすばらしい事業であります。

また、国の補助事業「きらりシルバー応援事業」に採択され、全国千三百余りあるシルバー人材センターの中から選ばれた五つのセンターの一つとして、斬新

なアイデアを駆使して会員確保のための事業に取り組むなど、常に新しい視点に立って事業を進めてこられました。

このようなことから、全国各地のシルバー人材センターから視察の依頼が数多く寄せられていると伺いました。全国の中でも模範となるような屈指のセンターに成長されたことを誇らしく感じております。

今、新型コロナウイルス感染症という新たな脅威が降りかかる中で、活動が思うようにできない状況が続いています。その中でも、会員有志による手作り布マスクの販売やティクアウト商品の受け取り代行サービス「シルバーイツ」などの新たな事業にもチャレンジされております。

地域社会のニーズをうまく事業化されており、こういった発想力と判断力、行動力の高さが貴センターの強みであると実感したところでです。

今後も引き続き、高齢者が地域社会の担い手として活躍することを通じて、生きがいの充実と健康の維持・増進を図ることができるよう、貴センターの一層の発展を御祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

## 創立四十周年を祝して

公益社団法人 新潟県シルバー人材センター連合会



会長 若林 孝

公益社団法人 柏崎市シルバー

人材センター設立四十周年を迎えられ、心からお祝い申し上げます。

貴センターにおかれましては、昭和55年10月に柏崎市高齢者事業団として設立されて以来、高齢者の社会参加と生きがいの充実を図るとともに、活力ある地域社会の実現や福祉の向上に大きな貢献をされてこられました。

社会情勢が目まぐるしく変化する中、会員数の拡大、就業機会の確保、安全・適正就業の推進などに積極的に取り組むことで大きな成果を上げるとともに、会員がボランティアで運営する「シルバーふれあいサロンやまゆり」や遊休農地等を活用した「みんなの農場」など独自の取組も行ってきました。

更に、最近では、従来の枠を超えた新しいシルバー人材センターを目指す「きらりシルバー応援事業」にも取り組んでいます。

貴センターのこのような目覚ましい活躍は、県内はもとより、全国でも屈指のシルバー人材センターであるという評価を得ております。

このことは、会員の皆様、役員並びに職員の方々の並々ならぬご努力と柏崎市など関係各位のご支援、ご協力の賜物と深く敬意を表する次第です。

わが国は、長期の人口減少の過程に入っています。労働力も減少する中、働く意欲ある高齢者が活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要になっていきます。

このような中、地域において日常生活に密着した仕事を提供するシルバー人材センターに対する国、県、市町村、企業等の期待は層大きなものになってきています。

連合会といたしましては、シルバー事業の活性化・発展のために、また、生涯現役社会実現に向けて更に努力して参りたいと考えております。

貴センターにおかれましては、豊かな発想力と果敢な行動力を活かして、今後とも市民の皆様から信頼されるセンターとして地域に貢献されますことをご期待申し上げます。

最後になりませんが、四十周年を契機に、貴センターの更なるご発展と会員皆様のご健勝・ご活躍を心からご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

## 創立四十周年を祝して

柏崎公共職業安定所

所長 金子 秀昭



公益社団法人  
柏崎市シルバー  
人材センターが  
創立四十周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。

貴センターにおかれましては、これまで40年にわたり地域に根差して高齢者の生きがいの機会の提供、活躍を推進してこられた功績に歴代の理事長様をはじめ、会員並びに役職員皆様のご努力に深く敬意を称します。

我が国は、少子高齢化が加速する中で、豊かで活力に満ちた社会を維持していくためには、高齢者の生活の安定が必要であり、長年にわたり培ってこられた知識、経験を生かした活動ができる雇用就業機会の開発や確保が益々重要となっております。

高齢者雇用対策では生涯現役社会の実現を目指し、現在は企業に対して65歳までの雇用確保措置を義務付けていますが、意欲ある高齢者がその能力を十分に発揮できるように令和3年4月より70歳までの就業確保措置を努力義務とするよう高齢者雇用安定法を改正することとしております。

柏崎市では、将来の高齢化社会の到来を見据え、昭和55年に県内二番目となるシルバー人材センターを設立され、県内のシルバー人材センターの牽引役として地域の社会の発展のため大きな役割を果たしてこられました。

また、平成30年度から三か年計画で厚生労働省のモデル事業「きりりシルバー応援事業」の指定を受け、会員数は1300人を超え、更なる事業の充実にご尽力されております。

この事業は、今までにない斬新な会員拡充や就業拡大に係る取り組みを行うものであり、貴センターにおかれては、メンバーズカードによるポイント制や、入会促進を進めるためのわかりやすい漫画冊子の作成など、工夫を重ね現在も取り組まれているところです。

現在、新型コロナウイルス感染症による地域経済の停滞から雇用

調整等雇用情勢が悪化するなか、センターの事業計画の運営においても少なからず影響はあるものも存じますが、会員の感染防止対策の徹底、受注確保に向けた企業訪問、自主事業等の積極的な取り組みにより、この難局を乗り越え更なる飛躍がなされますよう期待しております。

本格的な高齢化社会を迎え、柏崎市シルバー人材センターに対する期待も益々高まるものと思いますが、皆様には、「自主・自立・共働・共助」の理念のもと、会員の皆様ひとりひとりが「健康に感謝し、互いに力を合わせ、楽しく働く」を念頭に、今後の柏崎地域の発展に寄与されるようお願い申し上げます。

最後に、柏崎市シルバー人材センターの益々のご繁栄と会員の皆様のご健勝をご祈念いたしまして、創立四十周年のお祝いの言葉とさせていただきます。

## 四十周年を祝して

株式会社リケンキャステック

管理部 西倉 利美

この度は、柏崎市シルバー人材センター様の設立四十周年を迎え

られました事を心よりお祝い申し上げます。

私が弊社に入社して26年経過しますが、入社する以前よりシルバー様へ業務を依頼させて頂いておりました。

人生の先輩である会員の皆様のご経験豊かな知識および技術を生かした様々なサービスの提供が、常に安心した業務依頼へ繋がっている事と存じ上げます。

柏崎市シルバー人材センター事務員様におかれましては常に丁寧な対応をして下さり、心より敬意を表し、深く感謝申し上げます。

末筆ながら柏崎市シルバー人材センター様の一層のご発展と皆様のご健勝、ご活躍を祈念致し、お祝いの言葉とさせていただきます。



## 創立四十周年によせて

前理事長 千原 昭夫



やまゆりの当番をしながら、皆様との会話を楽しんでいきます。

中越沖地震、リーマンショックと続き、30年の祝典を縮小した思いがあります。コロナ禍の今、さだまさは「70年代から核家族化が始まり、家庭の中に第三の目がない。老若力を合わせ、年齢差交流が必要だ。ジジイとババアにある老人力に未来がかかっている」と。新生活様式が必要となります。

## 感謝の気持ちで

副理事長 淵岡 克生



「光陰矢の如し」で、会員になってから18年になりました。

仕事は市役所のお手伝い等が多く、リサイクルステーションの受け入れ業務もありました。また、就業機会創出員として戸別訪問は大変でしたが、

少しでも会員の仕事が増えればと頑張りました。いずれも、人との応対が大切で笑顔を心掛けてました。私ごとですが、体力維持に

「パワーリハビリ」に励んでいます。運動後のビールは最高！

今、「きらりシルバー応援事業」で成果を上げていますが、一方でコロナウイルスの影響で厳しい状況です。

今後、シルバー発展のため、共に一丸となって頑張りましょう。

## 四十周年を迎えて

理事 酒井 美代子



「柏崎市高齢者事業団設立」から40年。会員数も6倍強、ここまでの成長に改めて敬意を表します。

当時子育て中の私にとっては他人事のように感じておりましたが、今では会員として活動しています。

会員になって思うことは、「出会いと学び」の場であるということです。特に「やまゆり」の当番では会員の皆さんの元気な姿に刺激を受け、毎回学ぶことが多く楽しく有意義な時間となっています。

。「会員になってよかった」というのが今の思いです。

## 新時代の幕開けと

## 四十周年の節目に

理事 布施 陽子



降りかかったコロナ禍、その中で活動されている会員や事務局の皆様へ、改めて敬意を表します。

私自身は会員の経験も浅く、先輩方のご指導を頂きながら児童クラブ補助の仕事で、いつも子供達から元気と発見をもらっています。センターは40歳の働き盛りですが、私達は先輩方が築かれた歴史と経験、更に、力を結集して急がず無理せず、新しい歴史を重ねて行きましょう。

## 創立四十周年を迎えて

理事・枇杷島地区委員長

野中 一幹



創立四十周年おめでとうございます。私も入会から

10年が経過し、多くの会員様との交友を深め、老いて益々第三の人生を謳歌しているところでもあります。

今年の全国安全週間のスローガンは「エイジフレンドリー職場へ！ みんなで改善 リスクの低減」でした。高齢者にやさしい職場づくりの提言です。高齢者の労働災害が多発しているということ。作業標準の順守と、KY（危険予知）を徹底して、無事故・無災害で先輩諸氏から受け継いだシルバー人材センターを発展させようではありませんか。

## 四十周年を迎えて

西山地区委員長 山崎 正敏



まず、四十周年おめでとうございます。柏崎市シル

バー人材センターは昭和55年10月に設立されました。

西山町地区は平成17年5月に柏崎市シルバー人材センターに統合され、その当時は72名が入会されました。

今では100数名が会員になっ

ています。西山町当時は、草刈、剪定作業でしたが、近年は海岸清掃や多種多様の仕事に取り組んでいます。地域に役立つよう会員同士、共に頑張つて行きます。

### 創立四十周年を迎えて

東部地区委員長 内山 昭



シルバー人材センターに登録して今年で18年目となります。会社を定年退職して7年間引き続き勤務し、その後、柏崎市ガス水道局のガス・水道ボックスの点検作業、そして、今現在は柏崎市上下水道局で点検作業を行っております。

交通量の多い所では通行に注意しながらの点検作業となります。当日の作業終了後、報告書を作成し、水道局へ報告を行い、終了となります。

また、自分は畑作業の経験がなく、最近シルバー会員の人達に畑仕事を習い、現在、ミニトマト、キュウリ等を植えて楽しんでる今日この頃です。

### 「やまゆり」の当番

比角地区委員長 吉田 益夫



朝の開店時、新鮮野菜を求めらるお客様に大にぎわい。町なかの風情にもなっています。

店内は会員作品からフリマの商品まで多種多様、販売と商品管理などの諸作業が当番の仕事です。

お客様は中高齢者が多く、和やかな気づかいと臨機応変の対応がポイントになると思います。

私にとって当番作業は、頭の体操と情報交換で認知機能の活性につながるものと考えています。

### 創立四十周年によせて

西中中通地区委員長 柴野 幸雄



創立四十周年おめでとうございます。

平成15年に入会し、翌年、ヘルパー2級の資格を取得しました。

受講生26人中男性が2人のこともあって、実習の時はいつも介護者役に指名されました。女性パワーに圧倒されつつも講習を修了し、その資格を生かして身体介護や買い物支援等の仕事をしました。

平成20年から始まった農業支援スタッフ講習を受講しました。

畑で行われる農作業の実習では、県・農協の指導員からタネまき、苗植え、収穫まで一連の作業の流れを勉強しました。

今後さらなるご発展を祈念申し上げます。

### 思い出

黒姫地区委員長 五位野 務



会社で求人のためセンターに参上し、設立に尽力された須田兵治様や青木健様にお世話になりました。

入会後は、歴代の松原局長、佐藤局長、小池局長をはじめ、職員の皆様からあたたかいご指導をいただきました。

この30年間、楽しかった新年

会、有意義な地域懇話会、クリーン作業への参加など。また、新赤坂町、行兼、東本町等の遺跡発掘では先輩に教わりながら貴重な経験と楽しい思い出を残しました。走馬灯のように脳裏をかすめます。

良い思い出は、思い出したら即タイムスリップ、心に年を取らせない。頑張りましょう。

### 四十周年を迎えて思うこと

西部地区委員長 近藤 誠宏



私は入会して8年3か月経ちました。その間、海岸清掃、交通

量調査、駐車場料金徴収等では良き会員のパートナーと協力のもとに仕事をさせていただきました。

一番印象に残っているのは、昨年の港公園プールの受付業務です。利用者からの感謝の言葉や元気な子供達の声により、私自身に元気をいただいたからです。

今後も微力ながら、少しでも地域社会に貢献できるよう頑張つて行きたいと思っております。

## 40年の歩み（1）昭和53年度～平成17年度



① 昭和61年度 事務局が総合福祉センターへ移転



② 平成2年度 創立10周年記念式典を開催



③ 平成4年度 柏崎市勤労者総合福祉センター（ワークプラザ柏崎）落成式



④ 平成8年度 現センター事務所の竣工式



⑤ 平成12年度 介護保険事業に参入

### 昭和53年度(1978年度)

- 12. 12月市議会において、小林市長、高齢者事業団の設立の意向を示す

### 昭和55年度(1980年度)

- 4.19 第1回設立準備委員会(委員長 荻淵勇一郎)
- 10.15 「柏崎市高齢者事業団」として産声を上げ、設立総会が開かれる  
初代理事長に荻淵勇一郎が選任される(於:喬柏園、出席者201名)
- 12.25 二代目理事長に須田兵治が就任

### 昭和56年度(1981年度)

- 9.16 初めてテレビ局から取材。以降テレビ局の取材あいつぐ

### 昭和57年度(1982年度)

- 5.15 「柏崎シルバーだより」を創刊

### 昭和59年度(1984年度)

- 3. 事業実績が北信越で初めて1億円を突破する  
会員数は創立時の2倍に

### 昭和60年度(1985年度)

- 10.15 創立5周年記念に予めから準備中のパソコンを導入  
全国に先駆けて事務の効率化を図る

### 昭和61年度(1986年度)

- 10.15 総合福祉センター竣工、事務局は喬柏会館から移転①

### 昭和62年度(1987年度)

- 5. 法制化に伴い「柏崎市高齢者事業団」の名は消え、「社団法人  
柏崎市シルバー人材センター」に改称

### 昭和63年度(1988年度)

- 10.14 全シ協中央経験交流会大会で笠木事務局長が全国トップを  
きって事例発表
- 1.26 国土庁地方振興指導者が視察

### 平成元年度(1989年度)

- 業績伸長(受託金額2.7億円、会員数781人、就業率92.3%)

### 平成2年度(1990年度)

- 10.14 創立10周年記念式典を開催(於:産業文化会館)、  
記念誌発行②

### 平成3年度(1991年度)

- 5. 平成2年度事業実績が3億円を突破し、会員数は800人を超える

### 平成4年度(1992年度)

- 10.21 全シ協設立10周年記念式典で、労働大臣団体表彰を受賞
- 2. 柏崎市勤労者総合福祉センター（ワークプラザ柏崎）落成式典③

### 平成5年度(1993年度)

- 4. 「ワークプラザ柏崎」の管理運営を柏崎市から当シルバーに委託される
- 5.21 三代目理事長に笠木量平が就任
- 11. 6 会員数が1,000人に達成

### 平成7年度(1995年度)

- 10.15 創立15周年記念式典を開催(於:市民会館)

### 平成8年度(1996年度)

- 11. 1 現センター事務所の竣工式(柏崎市田塚三丁目)④

### 平成11年度(1999年度)

- 5. 四代目理事長に阪田利典が就任

### 平成12年度(2000年度)

- 4. 介護保険事業に参入⑤
- 10.13 創立20周年記念式典を開催(於:産業文化会館)、記念誌発行

### 平成16年度(2004年度)

- 10.23 新潟県中越地震発生
- 3.28 (社)柏崎市シルバー人材センター合併調印式(高柳町、西山町)

### 平成17年度(2005年度)

- 5.21 五代目理事長に千原昭夫が就任

## 40年の歩み(2) 平成18年度～平成26年度

### 平成18年度(2006年度)

- 4.15 当センター初のアンテナショップ「やまゆり」のオープンイベント開催(4/16から営業開始)⑥



⑥ 平成18年度「やまゆり」のオープンイベント開催

### 平成19年度(2007年度)

- 7.16 新潟県中越沖地震発生(「ワークプラザ柏崎」も避難所に)

### 平成20年度(2008年度)

4. 1 適正就業スタート(1年間猶予期間のもの)

### 平成21年度(2009年度)

- 10.12 「ワークプラザ柏崎」感謝祭を初開催⑦



⑦ 平成21年度「ワークプラザ柏崎」感謝祭を初開催

### 平成22年度(2010年度)

- 6.19 第1回定時総会開催、及び創立30周年記念式典・祝賀会を開催(於:市民プラザ)⑧  
7. 5 青森市シルバー人材センターより視察(以下、3団体から視察を受ける)  
7. 6 福井市シルバー人材センターへ視察  
8.28 えんま通り五百圓魔市に「やまゆり」が来店  
10.16-17 元気館健康まつり来店  
12. インターンシップ発表会(受け入れ側として出席)  
3.26 第2回定時総会開催(於:市民プラザ)  
会員研修会「高齢者の交通安全」



⑧ 平成22年度 創立30周年記念式典・祝賀会を開催

### 平成23年度(2011年度)

- 6.10 第1回定時総会開催(於:市民プラザ)  
7.16 ハートプロジェクトに「やまゆり」が来店(於:みなとまち海浜公園)  
10.15 西山フェスティバル2011にてPR活動(於:西山いきいき館)  
10.16 「やまゆり」がリニューアルオープン⑨  
10.25 魚沼市シルバー人材センターより視察(以下、4団体から視察を受ける)  
3.24 第2回定時総会開催(於:市民プラザ)  
会員研修会「守りの運用」、「もめない相続」



⑨ 平成23年度「やまゆり」がリニューアルオープン

### 平成24年度(2012年度)

4. 1 社団法人から公益社団法人に切り替わり収支相償の経営に移行  
6.23 定時総会開催(於:市民プラザ)  
会員研修会「やまゆり」、「みんなの農場」  
6.25 全国シルバー人材センター事業協会及び30周年記念式典参加  
10.11 松本地域シルバー人材センターより視察  
1.23 「やまゆり」が「キラッと光るいいお店」の新潟県知事賞奨励賞を受賞(於:ホテルイタリア軒)⑩



⑩ 平成24年度「やまゆり」が「キラッと光るいいお店」の新潟県知事賞奨励賞を受賞

### 平成25年度(2013年度)

- 6.20 全国シルバー人材センター事業協会定時総会において、安全就業優良表彰を受賞  
6.22 定時総会開催(於:市民プラザ)  
会員研修会「食事のバランスに関して」、「食品の安全を取り巻く環境について」  
6.22 六代目理事長に小林和徳が就任  
7. 1 初の介護職員初任者研修開講(ヘルパー 8/26まで全26回)  
7. 1 高岡市シルバー人材センターより視察(以下、4団体から視察を受ける)  
8.26 初の就農講習会開講(10/15まで全9回)

### 平成26年度(2014年度)

4. 「買物支援サービス」の取り組みをスタート  
4.11 上越市シルバー人材センターより視察(以下、7団体から視察を受ける)  
6.5-6 買物の支援先進地視察(於:東近江市、甲賀市 2名参加)  
6.19 定時総会開催(於:柏崎市産業文化会館)  
会員研修会「心の豊かさを求めて」長寿社会を上手に生きる」  
8.31 第1回ぱくもぐフェアに「やまゆり」が初来店  
9.15 「やまゆり」が内閣府が定める平成26年度社会参加章を受章  
12.15 買物支援バスツアー、やまゆり寄席

## 40年の歩み(3) 平成27年度～令和2年度



⑪ 平成29年度「やまゆり」がBSNテレビで取材・放映



⑫ 平成29年度 中越沖地震10周年越後柏崎えんま祭り



⑬ 平成30年度 県シルバー連合会から受賞



⑭ 令和元年度 台湾にて講演



⑮ 令和2年度 柏崎日報の元旦特別号に掲載

### 平成27年度(2015年度)

- 5.29 柏市シルバー人材センターより視察(以下、10団体から視察を受ける)
- 6.19 定時総会開催(於: 柏崎市産業文化会館)  
会員研修会「松尾芭蕉の交通安全 奥の細道柏崎編」

### 平成28年度(2016年度)

- 6.17 定時総会開催(於: 柏崎市文化会館アルフォーレ)  
会員研修会「柏崎から世界へ「水球のまち柏崎」を目指して」
- 6. 「月刊シルバー人材センター」の取材を受け、6月号に掲載「女性会員増強作戦」
- 8.3・4 豊川市シルバー人材センターより視察(以下、7団体から視察を受ける)

### 平成29年度(2017年度)

- 5.16・17 米原市シルバー人材センターより視察(以下、11団体から視察を受ける)
- 6.20 定時総会開催(於: 柏崎市産業文化会館)  
会員研修会「柏崎市第五次総合計画」
- 7.29 BSNテレビから取材を受け、「なじラテ・中澤卓也の手を握っていいですか?」で「やまゆり」の活動を放映①
- 10.15 中越沖地震10周年越後柏崎えんま祭り開催②
- 11.24 館林市シルバー人材センターへ視察(女性部会)
- 12.21・22 厚生労働省、全国シルバー人材センター事業協会が来訪

### 平成30年度(2018年度)

- 5.17 きらりシルバー応援事業の開札(平成30年度採択)
- 6.20 定時総会開催(於: 柏崎市産業文化会館)  
会員研修会「悪質商法及び特殊詐欺にだまされないために」
- 10. 3 山梨県峡南広域シルバー人材センターより視察(以下、9団体から視察を受ける)
- 10.12 新潟県シルバー人材センター連合会20周年記念式典にて受賞③
- 12.11・12 厚生労働省、全国シルバー人材センター事業協会が来訪

### 令和元年度(2019年度)

- 4. ポイントカードシステム開始
- 5.21 TeNY テレビ新潟から取材を受け、「夕方ワイド新潟一番」で「やまゆり」の活動を放映
- 6.19 定時総会開催(於: 柏崎市産業文化会館)  
会員研修会「まだ間に合う!認知症予防 ～ 認知症にならないための3つのポイント～」
- 7.25 厚生労働省課長・課長補佐が来訪
- 8. 「月刊シルバー人材センター」の取材を受け、8月号に掲載「特集 きらりシルバー応援事業の活動状況〈事例〉」
- 9. 柏崎市から取材を受け、9月の広報かしわざきに掲載「特集 今、事業所に注目してもらいたい輝くシニアたち」
- 9.12 長浜市シルバー人材センターより視察(以下、9団体から視察を受ける)
- 9.13 日本農業新聞「みんなの農場」の取材
- 9.17 全国シルバー人材センター事業協会が来訪
- 10.21 全国シルバー人材センター事業協会会長が来訪
- 11.20-24 台湾の財団法人老五老基金會にて講演(青木事務局長)④

### 令和2年度(2020年度)

- 1. 1 地域の日刊紙 柏崎日報の取材を受け元旦特別号に掲載「市シルバー人材センター」女性活躍部会パワー全開⑤  
定時総会開催(於: シルバー人材センター)  
※ 新型コロナウイルス感染予防のため、通常の開催によらず書面による採決を呼び掛けた

- 1. 出典: 主要事業経過(各年度)  
「シルバーだより柏崎」(各号)
- 2. 敬称は省略しました。



## 四十周年に寄せて

常務理事・事務局長

青木 健



私は柏崎市にシルバー人材センターが創立された時、職員として採用されましたので、シルバー人材センターの40年の歩みは、私の人生の歩みでもありました。

一口に40年と言っても、本当に様々なことがあり、この紙面で語りつくせるものではありませんが、寄稿の機会をいただきましたので一言申し上げます。

昭和55年の10月に柏崎市高齢者事業団として産声を上げ、その後公益認定をうけ、柏崎市シルバー人材センターとして進化を遂げてきた組織ですが、根底にある「自主・自立・共働・共助」の理念は、携わってきた者全てに受け継がれ、今日も息づいています。

福祉施策か労働施策かといった議論もありますが、個人の意見は「シニアの夢」を実現する、「シニアのパワー」を使って地域社会に貢献するという大きな目的を達成するための唯一無二の施策であると思っています。

日本人は、勤勉で働くことに生

きがいを見い出す稀少な人種であると言われてきました。

シルバー人材センターの仕組みはそんな日本人の生活様式にしっかりと溶け込み、サービスを提供する側、される側、双方に大きなメリットをもたらしています。

おかげさまで今日柏崎市のシルバー人材センターは人口10万以下の都市としては日本でトップクラスの実績を上げています。

その背景にはセンター事業に対する市民の皆さんの関心の高さ、期待に応えようとする会員のたゆまぬ努力、常に新しいことに挑戦しようとする事務局の熱意はもとより、柏崎市をはじめとする関係諸団体の多大なご協力があり、40年の歴史と成果はその賜物であります。心より感謝申し上げます。

コロナ禍、地震や洪水などの大災害、世界情勢の大きな変化など、私たちを取り巻く環境は先が見えません。しかし、古くから受け継がれてきた伝統や文化、新しい環境に対応し変わってゆくことのできる人々の強い絆を大切に守り育ててゆく、その一端を担うことがシルバー人材センターの大きな役割であると思っています。

これから先、50年、100年とこの組織の理念が受け継がれて行くことを切に願い、四十周年にあたっての言葉といたします。



一緒に頑張りましょう！ シルバー人材センター職員一同

### 令和2年度 主な行事予定

9月	地区委員長会議 [15日(火)]	11月	小物づくり体験 [19日(木)]
	新総合事業サービス担い手養成研修(ヘルパー) [24日(木) 25日(金)]		エコバッグづくり体験 [26日(木)]
10月	事業普及啓発促進月間	12月	刃物研ぎ体験 [26日(木)]
	シニア作品展・じまん展 [24日(土) 25日(日)]		調理しごとセミナー [17日(木)]
	手芸講習会 (来年の干支作り)	1月	マインドフルネス(今を大切に生きる生き方) [20日(水)]
11月	料理講習会	3月	利き脳片つけセミナー [20日(水)]
	子育て支援セミナー [19日(木)]		安全推進員及び職群班合同会議 女性会員の集い

※ 新型コロナウイルスの感染状況により、中止することがありますのでご了承下さい。

# 令和2年度定時総会開催

令和2年度定時総会が、6月17日(水)13時30分から柏崎市シルバー人材センター内で開催されました。

今回の定時総会は、新型コロナウイルス感染症予防のため、通常の開催によらず書面による採決を呼び掛けました。

総会当日の出席者3名、委任状267名及び書面採決635名で、会員総数1280名の過半数に達したので開催が成立しました。

議長に田中輝穂氏(西山地区)を選出して、次の次第で進められ、提出された議案はいずれも原案どおり決議されました。

監事の監査報告  
報告第2号

令和2年度事業計画  
報告第3号

令和2年度収支予算  
報告第3号

六、閉会(14時30分)



## 地区委員・会員表彰

地区委員表彰(2名)

柴野幸雄(西中通)、倉部義則(西中通)

会員表彰(21名)

村山直江(海岸)、春川シヅエ(高田上条)、藤田晴美(東部)、関野光彦(西中通)、山田廣子(東部)、安澤ミエ子(高田上条)、木戸キイ子(田尻)、小川愛子(田尻)、岡田節子(比角)、山田松男(田尻)、本間節江(西中通)、小林章子(高田上条)、

帆刈勝秋(剣野)、市村真介(東部)、宮竹孝彦(西中通)、青木茂夫(西山)、佐藤延代(田尻)、若月しず子(比角)、片桐猛(田尻)、山崎義幸(中南鯖石)、大島美枝子(西部)

※ 今回の表彰式は総会当日に行わず、後日、シルバー人材センターにおいて理事長より個々に賞を受け取っていただきます。

**受賞者喜びの声**

西中通地区 本間節江

この度は「会員表彰」を頂き本当にありがとうございました。シルバー人材センターと出会い、若い方や年配の方と大勢の人達と知り合うことができました。

今は適度に仕事を頂き楽しみなが張り合いを持って毎日を過ごしております。

また、「やまゆり」のお手伝いをさせてもらっていることから、今まで全く興味の無かった野菜作りを始めてみました。始めてみると楽しく、日々成長していく野菜を眺めながら美味しくいただいで

## 理事会だより

令和2年度第1回

令和2年5月28日(木)

おります。

当番の日は仲間へ会い、来店されたお客様と話したり、商品を納入される会員さんの話を聞き、美味しい食べ物や利用方法等貴重な話を聞いたり楽しい時間になっています。

これからも仕事と仲間作り等々積極的に取り組み、シルバー世代を元気に楽しんでいきたいと思っております。

### 議事

- 一、令和元年度補正予算について
- 一、令和元年度事業報告について
- 一、令和元年度収支決算報告について

### 監査報告

- 一、令和2年度定時総会書面採決方式について

一、令和2年度補正予算について  
報告事項

- 4月度入退会者について  
入会15人、退会50人、35人減
- 最近の動向について
- その他



前号に引き続き、**ポイントカード**の使い方を詳しくお伝えします  
今号では獲得したポイントはどのように使うかと、利用申請方法を説明します



貯まったポイントはどんなことに使えますか？(還元を受けることができますか?)

- 下記の5項目でポイントを還元(利用)します(1ポイントは1円に換算します)。
- ① やまゆりの買い物券に変えることができます(100ポイント単位で交換します)
  - ② シルバー人材センターの会費に充当できます
  - ③ センターが主催する研修旅行会費に充当できます
  - ④ センターが主催する忘・新年会会費に充当できます
  - ⑤ 会員自らがセンターに発注した仕事の支払いの内、事務費の範囲内で充当できます



シルバー人材センターを退会しても、残ったポイントは使えますか?

使えますが次の制限があります。会員が発注した仕事の事務費の範囲内での支払いで、退会した年度の翌年度末まで利用することができます。



一度退会し再入会した場合残っていたポイントは有効ですか?

使わずに残っていたポイントは無くなり、新会員と同じくゼロからの出発になります。

ポイントを利用すると、カードのグレードが下がり、2倍3倍のポイントが受けられなくなるのではありませんか?

センターでは、獲得総ポイントと利用後の残ポイントのデータを持っています。カードのグレードは獲得総ポイントで決まりますので、残ポイントが少なくなっても、グレードが変わることはありません。



保有ポイントから還元を受ける手続き方法を教えてください。

簡単です。  
事務所受付カウンターに備えられている、「ポイント利用申請書」に必要事項を記入して職員に渡し、「本人控え」を受け取って頂くだけです。



記入例

ポイント利用申請書				
利用申請日 令和2年9月20日				
会員番号	9999	氏名	知場元氣	
利用種類	やまゆり いづれかに○ クーポン	年会費	研修旅行	会員忘年 発注の 参加費へ 会費へ 仕事分へ
利用ポイント	上記へ 1000ポイント分利用します			
※ センター使用欄				
処理確認欄	受付者	処理決済	ポイント処理者	発注請求書№
※完了日付記載				
----- きりとり -----				
ポイント利用申請書 本人控え				
利用申請日 令和2年9月20日 ※控えの記入もお忘れなく				
会員番号	9999	氏名	知場元氣	
利用種類	やまゆり いづれかに○ クーポン	年会費	研修旅行	会員忘年 発注の 参加費へ 会費へ 仕事分へ
利用ポイント	上記へ 1000ポイント分利用します			

2回にわたってポイントカードについて、説明してきました。  
もう少し詳細が知りたい方は、配布してある「会員証(ポイントカード)ガイドブック」を参照して下さい。  
更に疑問に思うことがありましたらセンターに問い合わせください。  
必要に応じ「シルバーだより」を通じてお答えしていきます!



## シニア作品展・しまん展の案内

とき 10月24日(土) 10時〜16時  
10月25日(日) 10時〜15時  
ところ ソフィアセンター

(市立図書館)

柏崎市老人クラブ連合会主催(シルバー人材センター共催)でシニア作品展・しまん展が開催されます。

シルバー人材センター紹介コーナーや作品紹介コーナーがありま  
すので、会員のみならずぜひお  
出かけください。

展示品の募集をします。

作品は、日本画・洋画・彫刻・  
陶芸・書道・写真・手芸品・編み  
物などなんでも結構です。

また、骨董品・自慢できる物・  
昔作った物なども大歓迎です。

出品していただける方は、10月  
2日(金)までに事務局に連絡して  
ください。(☎24・2148)

出品数 一人二点まで

## 就業相談室開設

未就業の方々や現在の就業に満  
足できない方々のお気持ちを聞き、  
より良い就業ができるような相談  
室を開設しています。

希望の方は、必ず電話予約をし  
てください。

## 事業普及啓発促進月間案内

全国シルバー人材センター事業  
協会では、10月1日から31日まで  
を「シルバー人材センター事業普  
及啓発促進月間」と定め、センター  
の事業理念を広く市民のみならず  
にご理解いただくため、全国的な  
普及啓発活動を展開しています。

当シルバー人材センターも、こ  
の期間中に会員の増強と就業機会  
の拡大を進めています。新規会員  
の募集や、会員の経験を活かす就  
業の開拓推進などを目的に、各イ  
ベント会場にてPR活動を行いま  
す。

今年もまた「シルバーの日」10  
月17日(土)を中心に、各地内でク  
リーン作戦(清掃ボランティア)を  
実施する予定です。

近隣の施設や道路沿いのごみ拾  
い、草取りや清掃を行います。

多くの会員の方が参加されます  
よう、お願いします。

## 年会費未納の方へ

令和2年度年会費未納の方に、9  
月中旬以降お支払いのご案内を送  
付いたします。

お早めに納入いただきますよう、  
よろしくお願いいたします。

## 事業中止などのお知らせ

○次の恒例事業は、新型コロナウイルス  
イルス対応のため本年度は中止  
いたします。

- ・ 会員研修旅行
- ・ 忘年会

○紙面の都合で、次の掲載はお休  
みします。

- ・ 地区の動き
- ・ 就業体験
- ・ めい人登場
- ・ やまゆり通信

## ◆ニューフェイス◆



吉田 里歌さん  
令和2年4月1日  
経理・総務担当  
として採用



品田 久幸さん  
令和2年4月1日  
業務担当として採用

## 今後の活躍を期待します

「やまゆり」  
無料パソコン相談コーナー  
毎週、金曜日午後1時〜3時  
まで開いています。  
お気軽にお問い合わせください。

## 編集後記

新型コロナウイルスの影響で式典こそあ  
りませんでしたが、四十周年記念  
号編集に携わり改めて歴史を感じ  
ます。ご寄稿をいただいた方々に  
厚く御礼申し上げます。

編集作業では、8名の広聴広報  
部会員で「ワイワイガヤガヤ」  
結構楽しい時間でもありました。

それにしても、戦後の歴史を創  
り上げた諸先輩達が、今度はシル  
バー人材センターの立上げに貢献  
されました。その成果として、多  
数の視察団からご来訪頂きました。  
40年間、紆余曲折、山あり谷あ  
り中越沖地震等も乗り越えてきま  
した。

理事長をはじめとする役員の方  
々、および事務局の皆様にご改め  
て感謝いたします。

現在は1300人もの会員を有  
してそれぞれが活動していますが、  
新型コロナウイルスの影響で経験したこと  
のない対応を迫られています。こ  
れも、全員の気力で乗り切れると  
強く確信しています。(新保)